


嵐山町立武蔵嵐山小学校・武蔵嵐山中学校

校章候補アンケート 図案説明一覧(9案)

	図案(上：小学校、下：中学校)	図案説明
A		美しい自然に囲まれた環境で、真っ直ぐに学ぶ生徒達を『武蔵嵐山』の文字を使用して、デザインを仕上げました。小学校6年・中学校3年を破線を含めた9本の罫線で表現しております。全体の色使いは、緑と水と暖かさと優しさを感じさせる色調にまとめました。
B		武蔵嵐山小学校と武蔵嵐山中学校は「小」・「中」と読みを変えることでデザインを変えました。 小学校を六つ、中学生を三つの罫で描き、各々学ぶ年、嵐山溪谷の岩畳・清流・自然あふれる景観をイメージ、そして「嵐」の文字を彷彿、また大地に佇む児童・生徒と見立て嵐山町を愛する姿を表わしてあります。
C		武蔵嵐山小学校・中学校両校の頭文字「MR」と町の花「つつじ」をモチーフに、心豊かな自然に抱かれた小・中学校周辺と両校「小・中」の文字を表し、温かい愛情に包まれ、児童・生徒の将来への大きな“夢や希望”を目標に更なる飛翔・発展・向上する明るい元気な活気にあふれる「武蔵嵐山小学校」と「武蔵嵐山中学校」の輝かしい姿を力強くアピールしています。
D		【小学校】嵐山町ゆかりの畠山重忠の家紋の「桐」の花びら及び葉をモチーフに、「桐」のもつ、高貴で偉大、重忠の誠実で思いやりの人柄をイメージし、表現しました。また、「小」文字部分にの嵐山町のシンボル・オオムラサキのイラストを合わせて図案化しました。3枚葉で「3校統合」を、また「小」周りの「輪」で「小中一貫教育」の「一体感」を表現しています。【中学校】嵐山町ゆかりの畠山重忠の家紋の「桐」の花びらをモチーフに、「桐」のもつ、高貴で偉大、重忠の誠実誠実で思いやりの人柄をイメージし、表現しました。また「中」文字部分にの嵐山町のシンボルのオオムラサキのイラストを合わせて図案化しました。5裂平開きの花冠は、5校の「小中一貫教育」を、また「中」周りの「輪」で「小中一貫教育」の「一体感」を表現しています。

E		<p>嵐山町の偉人「畠山重忠」ゆかりの「五三の桐」は伝統と格式の証です。この古き伝統と新しい英語のロゴを組み合わせた校章デザインとしました。ここには郷土を愛する気持ちと世界へ羽ばたいてほしい願いを込めました。周囲の円は、小学校が3本、これは3つの小学校が集まって和(輪)をなしたものの、中学校は2つの中学校が集まって和(輪)をなすことを表しています。</p>
F		<p>●嵐山町の町の木「梅」の花をベースにする事で、地域に守られ地域の未来を担う小・中学校を表わしています。●花びらの重なりに、子らの友達を思う心・感謝を忘れぬ心で切磋琢磨し勉学に励む学校の意味を込めています。●英字表記は、世界の広い知識で連携し次代を担う子らを象徴しています。●小学校章は、梅の花の真っ白で純粋な思いを子らの健康な成長に重ねています。●中学校章は、国蝶オオムラサキのカラーリングを取り入れて上級生の気品を織り込みました。</p>
G		<p>嵐山町の山並みを図案化し学生達の様々な可能性と方向性、向上心を表現しました。ラベンダーの真っ直ぐに育つ様を図案化して取り入れました。</p>
H		<p>子供たちが手を広げ花が開いた形になるように手をつなぎ合っているイメージのデザインを周囲に描きました。その中に町の花ツツジを描きました。更に嵐山溪谷を流れる槻川が希望の象徴虹にも見えるように、嵐山の文字と重なるように描きました。小学校は新緑の緑を基調に中学校は町の蝶でもあるオオムラサキの色を基調に色付けしました。</p>

I		<p>武蔵嵐山町の町蝶である「オオムラサキ」を中心に据え、町を象徴する自然と未来へ羽ばたく子どもたちの姿を重ね合わせた校章です。オオムラサキの翼は、伸びやかさと成長を表す曲線で構成し、中央に最も視線が集まるよう配置しています。下部モチーフは学校ごとに変え、中学校では比企丘陵のなだらかな山並みを、小学校では町を流れる槻川を表し、地域に根ざす学びを表現しました。外形は中学校を六角形、小学校を円形とし、それぞれ「規律と調和」「調和とつながり」を象徴しています。色は中学校を紺、小学校を緑とし、共通して金をアクセントに使用することで、品格と統一感を持たせました。</p>
---	---	---